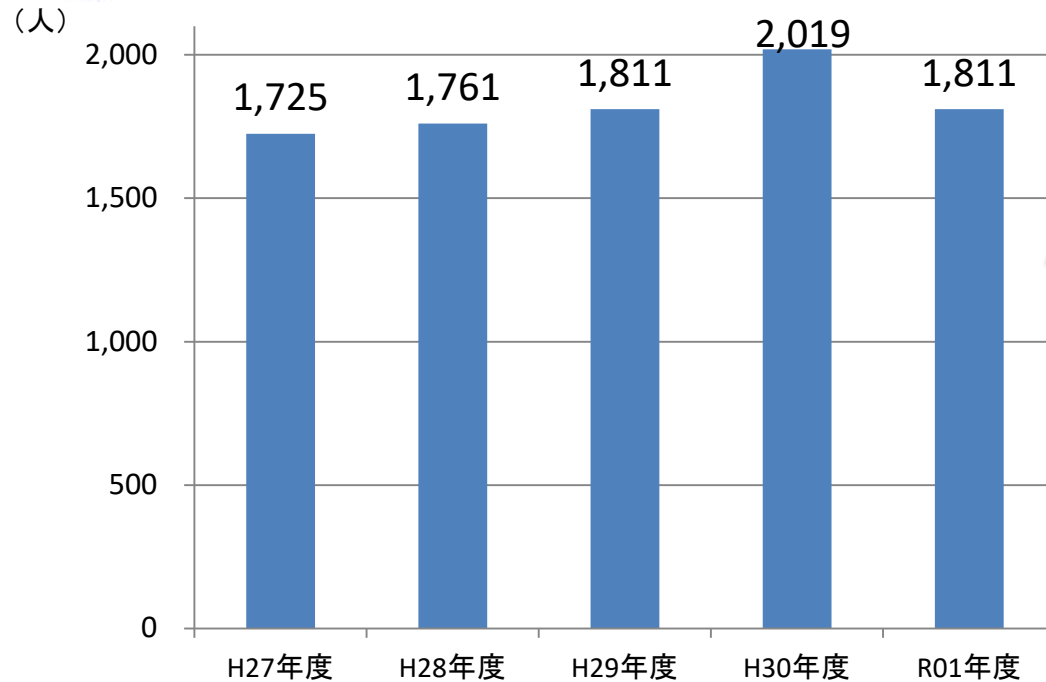


救命救急患者数

■ 解説: process指標

国立大学附属病院は高度な三次救急医療を担うことは社会的責任です。三次救急医療とは生命に危険をもたらす重篤な状態にあつて高度な医療を必要な患者さんのための医療です。診療を行うには、高度な技術と経験、設備が必要で、その体制と実績を表す指標です。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

当院は、救命救急センターの指定を受けておりませんが、救命救急患者を受け入れる体制を有しており、全国の中央値より高い水準を維持しています。引き続き、地域医療への貢献に努め、特定機能病院として高度な医療を提供します。

■ 定義

「救命救急患者」とは医科診療報酬点数表における、「A205 救急医療管理加算」または「A300 救命救急入院料」、「A301 特定集中治療室管理料」、「A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料」、「A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料」、「A301-4 小児特定集中治療室管理料」、「A302 新生児特定集中治療室管理料」、「A303 総合周産期特定集中治療室管理料」を入院初日に算定した患者を指し、必ずしも救命救急センターを持たない施設でも使用できる指標とします。救急外来で死亡した患者も含まれます。

■ 令和元年度国立大学病院報告書: 100床換算; 中央値262.74、当院318.28